指導案⑭

**防災・安全　学習指導案**

年　月　日（　）第　校時

学年　　低学年

児童数　　　名

場所　　　教室

指導者

**１　題材名**　「どこが危ない？」

**２　題材について**

（１）児童の実態

（小学校の立地、児童の人数、特徴などを書く。）

　（２）題材設定の理由

　　　こどもたちは、地震や洪水などの自然災害や交通事故、水難事故、けがなど、日常生活でも危険な目にあうことがある。絵を見て、自分の周りにどのような危険が潜んでいるかを認知する習慣と能力を身につける。

**３　評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 集団活動や生活への関心・意欲・態度 | 集団の一員としての思考・判断・実践 | 集団活動や生活についての知識・理解 |
| 評価規準 | 自己の身の回りの問題に関心を持ち、進んで日常の生活や学習に取り組もうとしている。 | 小学校での生活を楽しくするために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。 | 小学校での生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。 |

４　事前の指導

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
|  |  |  |

**５　本時のねらい**

　日常生活の様々な場面に潜む危険を認知し、どうすればそれを回避できるかを考えさせる。

**６　本時の展開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指すこどもの姿と評価方法 |
| 導入 | 　今までに体験した「ヒヤッとしたこと（ちょっとした危険な体験）」を発表する。それぞれの危険に対してどうすればその危険を回避できるかを考える。 | 　こどもたちに「ヒヤッとしたこと」がないかを訪ね、あるこどもたちには順番にその時のことを発表させる。　発表の内容を「水難事故」「交通事故」「家庭内事故」などに分けながら、わかりやすく板書する（箇条書きなど）。一つずつ順番に考えさせ、意見を言わせ、教師のコメントを伝える。 | 自分の危険な体験を正確に表現することができているか。他の人の発表をしっかりと聞けているか。 |
| 展開 | 1. 与えられた絵の中にどんな危険が潜んでいるかを考え、発表するる。
2. 絵の中の危険を回避する方法を考え、発表する。
 | できるだけ多くのこどもたちの意見を聞く。意見に対するコメントを言いながら発表を進めていくが、解決策には言及しない。危険の回避のためにはこどもたちが考えることと社会全体が考えること（大人、行政など）があることにも気づかせる。 | 　自分の考えを積極的に発表で来ているか。　絵の中の危険を的確につかんでいるか。　合理的な解決方法を考えているか。 |
| まとめ | 　身の回りにはたくさんの危険があるが、注意すれば重大事故は防げることを学ぶ。 | 身の回りにはたくさんの危険があるが、注意すれば重大事故は防げることを具体的な解決策を示しながら説明する。 | 　説明をしっかりと聞けているか。 |

**７　事後の指導**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
| 貼りだされた絵を見て考える。 | 授業で用いた絵を教室に貼りだしておく。こどもたちは休み時間などにその絵を見て考える癖がつく。 | 関心をもって絵を見ているか。解決策を考えているか。 |

以上